



ねらい

- 誰もが乳幼児期にスキンシップは必要だとわかっています。でも毎日の家事に追われて、なかなか子どもが求めて来るときに対応できないことが多くはないでしょうか。参加者同士が交流する中で、無理なときの「抱っこ」や対応についての工夫をもち帰ってまいりましょう。
- 乳幼児期のスキンシップには、心の栄養としての大きな役割があります。それは子どものためばかりでなく、親にとっても必要な栄養素となります。子どもの心を満たし、自己肯定感を高める効果的なスキンシップについて考えていただきましょう。

時間	内 容	主 な 活 動	留 意 点
例： 60分 00:10	はじめのこ とば	「みなさん、こんにちは。ご多用のところ、参加いただきありがとうございます。今日は、年齢に応じた“お手伝い”について、考えてみたいと思います。司会の〇〇です。よろしくお願いします。」	◇笑顔で親しみやすい言動に努めましょう。 小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があるとやわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなります。 
	3つの約束 確認	「この会は、ともに楽しく学び合い、みなさんで作り上げていくものです。誰もが『参加してよかった。』と思える会にするために、協力していただきたい3つの約束があります。」 ① 参加 「積極的に話し合いに参加しましょう。全員が参加できるように、協力をお願いします。」 ② 尊重 「お互いの意見や感じ方を尊重しましょう。他の参加者の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりしないようにしましょう。話したくないことは、パスしてもかまいません。」 ③ 守秘 「子育ての交流ですから、個人情報に関わる内容も出てきます。同じ時間を共有する者同士の信頼関係のうえで行われる交流です。決して口外しないようにしましょう。」	◇会を成功させるために、学習を始める前に参加者全員で「3つの約束」を確認しましょう。 ◇一人が話し過ぎないように、時間配分を考えながら、全員に話す機会を回すようにしましょう。 ◇「相手の目を見てうなずきながら聞くとか、相槌を打ちながら聞くなどすると、話す人も嬉しいですね。」と具体的な聞き方を伝えると分かりやすいでしょう。 ◇子育て中の親として、家族に関わることも話題になりますが、自由に話してもらうためにも、信頼関係が大切であることを理解してもらいましょう。
	アイスブレ イク	「それでは、みなさん、少し緊張していらっしゃるようですので、心と体をほぐしリラックスしましょう。」 バースデーチェーン 「1月から早い生まれ順に並び替えます。そのときに話してはいけません。ジェスチャーで、相談してください。それでは始めましょう。」 ・誕生日だけでなく、その日早く起きた順などでもできますよ。	◇アイスブレイクとは、参加者の不安や緊張を氷にたとえ、その氷（不安や緊張）を溶かすという意味をもった活動です。 ◇15ページ「7 アイスブレイクに活用できる簡単なゲーム」 ⑩参照 

<p>00:40</p>	<p>ワークシ ョ ップ</p> <p>※時間があ れば、<ワー ク 2>につ いて、次ペ ージの方法も あります。</p>	<p>「それでは、緊張もほぐれたところで、お配 りしたプリントの『こんなことはありません か』をそれぞれお読みください。」</p> <p>グループディスカッション <ワーク 1> 「それでは、アイスブレイクで並び替えた順 に、わが子の『抱っこ〜』への対応を交流 しましょう。」</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯の支度をしているとき →「一緒に手伝ってくれるとうれしい な。」と言う。 ・買い物をしているとき →「車まで歩いていけたら抱っこする よ。」と言う。 ・掃除や洗濯をしているとき →「お母さんの仕事が終わるまで待つて くれたら、いっぱい抱っこするよ。」 と言う。 <p style="text-align: right;">など</p> </div> <p><ワーク 2> 「みなさん、毎日お子さんのために奮闘して いらっしゃる様子が伝わってきました。そ れでは、日頃お子さんとどんなスキンシ ップの時間をとっていますか。実践されてい ることを交流しましょう。」</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・お風呂タイム。 ・夜寝る前の読み聞かせ。 <p style="text-align: right;">など</p> </div> <p>「資料にあるスキンシップに取り組んでい る保護者の感想を読みましょう。読み 聞かせでスキンシップをとることもでき ます。園全体で取り組むのもいいですね。」</p>	<p>◇「こんなことはありませんか」に ついては、詳細な説明はせず に、読んでいただくとよいでし ょう。</p> <p>◇どんな話が出されているか、簡 単にメモをとるとよいです ね。話している方を見て、う なずきながら聞くようにしま しょう。</p> <p>◇自由に家庭の様子を話せるよ うに、進行役の方の困ってい ることや悩んでいることを話 すと、言いやすくなります。</p> <p>◇グループごとに交流する際、 「自分にもできそう。」「よい 方法だなあ。」などと思った意 見は、ワークシートの「いい ね!」の欄にメモを取るとよい ことを、事前に伝えておきま しょう。</p> <p>◇出された意見をまとめたり、結 論を出したりする必要はあり ません。自分自身、こんなヒ ントをもらったというように、同 じ立場で話すとよいでしょう。</p> <p>◇資料のページから活用できる ものがあれば、それをもとに話 すのもよいでしょう。詩や本 の一部を引用して、読んで紹介 してもよいですね。</p>
<p>00:10</p>	<p>ふりかえり</p>	<p>「いかがでしたか。いろいろな工夫が出され て、今日から生かせそうですね。」</p> <p>「私も～ようなことがあって、子どもの気も ちに応えられないことがありましたが、今 日みなさんの意見にもあったように接し ていたらよかったんだなあと教えてもら いました。」</p>	<p>◇最後は、参加者の日頃のがんば りを認めることのみとし、指示 やアドバイスをすることは避 けましょう。</p>



<p>おわりのことば</p>	<p>「みなさん、今日参加されていかがでしたか。毎日、お子さんを目の前にして奮闘していらっしゃる皆様方にとって、少しでも気持ちが軽くなったり、何かヒントを得たりしていただけたならうれしいです。お話を伺っていて、本当にみなさんよくやっというらっしゃるなあと思いました。これからも、お困りのことがあれば、一人で悩まずに、このような機会を活用したり、参加された方同士情報交換したりしてくださいね。」</p>	
<p>時間がもっと取れるなら、こんな方法もありますよ</p>		
	<p><ワーク2> 「みなさん、毎日お子さんのために奮闘していらっしゃる様子が伝わってきました。それでは、日頃お子さんの困った事などを出し合い、気をつけていらっしゃることを交流しましょう。こんなことに気をつけているとか、こんなことをやったらうまくいったなどを、付箋に1つずつ書き出してみてください。今、思いついたものでもかまいませんよ。」 「それでは、画用紙に色分けして貼ってみましょう。そして、お互いの実践を交流しましょう。」</p>	<p>◇話し合いを進めるには様々な方法があります。P10「6取組を活発にする手法あれこれ」を参考にしてください。 ◇2色の付箋と、画用紙を1枚準備する。 ・困っている事…青色 ・成功した事…黄色 ◇「その方法いいですね。」「そんなやり方もあったのですね。」などと、ほめる声かけをするとよいですよ。</p>
<p>いくつかのグループがあれば、発表の時間をとりましょう</p>		
	<p>「さあ、それぞれのグループごとにどんな工夫が出ましたか。発表してもらいましょう。」</p>	<p>◇付箋を貼って整理した資料を示しながら説明してもらおうとよいでしょう。全員役割分担をして、発表するというのもグループの連帯感が強まります。</p>